

茨木バラとカシの会、環境大臣表彰を受賞！！

——平成 30 年度地域環境保全功労者等環境大臣表彰授賞報告——

茨木バラとカシの会会長 太田 仁(自 15)

6月5日は環境の日であり、国連ではこの日を「世界環境デー」と定め、わが国では毎年6月の1か月を「環境月間」として、全国で多彩な行事が繰り広げられています。環境省では、この時期にあわせて、環境保全、地域環境保全及び地域環境美化に関して、顕著な功績があった者（または団体）に対し、その功績をたたえるため、環境大臣による表彰を行ってきています。1976年に「環境週間」行事の一環として創設された制度で、今年度は、53名、81団体が受賞しました。（環境週間は1991年から環境月間に拡大されています。）

今回、茨木バラとカシの会は、「地域環境保全功労者表彰」を受賞し、去る6月13日、東京の皇居西側にあるグランドアーク半蔵門で行われた表彰式に出席してきました。

控室では初対面の各受賞団体の代表が、お互いの活動を紹介しあうなど和やかな空気が流れていました。式典担当者から会場での席順や式次第などの説明のあと、粛々と表彰会場へ移動。着席後の30分間は受賞者それぞれが舞台を背にして記念撮影。それも一段落し、大臣一行の到着を待つ15分ほどの間、緊張した沈黙の時間が流れます。

定刻になり、国会開催中で都合がつかなかった環境大臣に代わって環境副大臣が挨拶され、そして表彰状授与。北海道から順番に受賞者の名前が読み上げられ、34番目に「大阪府、茨木バラとカシの会」と紹介されました。

その後、会場を写真館に移し、受賞部門ごとに記念撮影。い



中川雅治環境大臣(左)と



つの間に駆けつけられたのか、中川環境大臣が中央に座っておられました。

懇親会は、受賞者、その随行者、大臣、副大臣、政務次官、事務次官、それに環境省官僚、報道など大勢の人が入りまじって200名ほどの立食パーティー。政治の話は抜きにして、お互いのお国自慢や活動紹介で話が一気に盛り上がりました。せっかくの機会なので大勢の人との交流を願ったものの、残念ながら居合わせた島根、神奈川、埼玉、横浜のグループだけで時間切れとなりました。

今回の受賞は、会の発足以来20年におよぶ茨木市とわが会の連携活動が実ったものであり、創設期に尽力され、わが会の礎を築かれた先人たちの活動がしっかりと地域に根付いたことの証でもあります。あらためて茨木市はじめ、茨木バラとカシの会先輩諸氏に感謝申し上げると共に、活動を支えている会員の皆さんと喜びを共にし、これからの地域活動に弾みをつけたいと思っています。

(※6月18日に茨木市長への受賞報告を予定していましたが、朝に発生した地震で延期されました。)



合間を見て会場前の半蔵門から桜田濠に沿って歩いてみた。樹齢200年ほどの大きなユリノキが並んでいる。下水道工事で伐り取られていた樹の年輪を数えてみると予想に反して樹齢100年だった。

半蔵門北にある千鳥ヶ淵公園が大正8年(1919年)に誕生しているので、この時期に植えられたのだらうと思いを偲ばせた。

「茨木バラとカシの会」は、シニア自然大学校の地域組織として、「会員相互の親睦を兼ねて、茨木市及び近隣の自然環境に関する研修会を行い茨木市内の環境について理解を深める」、「自然や生き物との触れ合いの場をつくり、自然環境教育の支援などのボランティア活動へ参加する」との理念のもと、1999年から20年に亘る活発な活動を続けています。昨年末現在54人の会員で構成されています。自然と仲間でも何度かその活動を取材、紹介してきました。

地域環境保全功労者等環境大臣表彰の受賞 誠にありがとうございます。

(「自然と仲間」編集担当)